

シリーズ
仏教語豆辞典
第16回

阿 吽 (あうん)



日常的に使っている言葉には、仏教の言葉から生まれた「仏教語」がたくさんあります。由来をたどってみると、その言葉の理解が深まったり、本来の意味との変化に驚いたり、とても興味深いです。なじみのある言葉を、仏教とのつながりからみてみましょう。

^{すもう}
相撲の仕切りは「阿吽の呼吸」を合わせます。



吐く息、吸う息を合わせるのです。

社寺の門前のコマイヌさんや、山門の仁王様は、一方が口を開いて「ア」、他方は口を閉じて「ウン」と、阿吽の姿をしています。

サンスクリット語では、最初が「ア」と口を開いて出す音声で「阿」と訳され、最後は「フーン」と口を閉じて出す音声で「吽」と訳されています。



日本のアイウエオで始まる五十音図は、このサンスクリット語の配列にヒントを得て、それに基づいて整理されたものといわれていますから、同じく「ア」で始まり「ン」で終わっているのです。

このように、阿吽は、ものの始まりと終わり、出息入息を示しています。

密教では、阿吽を、根源と帰着 ^{ぼだいしん} 菩提心と涅槃 ^{ねはん} などの象徴としているともいわれているようです。

(辻本敬順著『くらしの仏教語豆事典』(本願寺出版社)より転載)



今月の予定

2024年 10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 10:00納骨堂合同参拝 13:30グランドゴルフ
6 7:00日曜礼拝 ●	7	8	9	10	11	12
13 7:00日曜礼拝 ●	14スポーツの日	15	16	17	18	19 13:30グランドゴルフ
20 7:00日曜礼拝 ● 13:30法話会【講師】園淵和貴師(大阪) ●	21	22	23 松戸市の子供の居場所作りの活動です	24	25	26
27 7:00日曜礼拝 ●	28	29	30 11:00~17:30 駄菓子屋くるくる(駐車場)	31		

【11月の予定】
2日(土)おみがき
※第1土曜日です
ご協力お願いいたします
23日(土・勤労感謝の日)
報恩講・門信徒会入門式

●印がついている行事はオンライン配信します。天真寺HP、またはこちらから→<http://www.koumyou.net/tenshin>

天ちゃんの一言

● おみがき 11月2日(土) 9:00~13:00 ご協力お願いします

報恩講を迎えるにあたり、本堂の仏具のお磨き等を行います。多くの方にお手伝いいただけると大変ありがたいです。また、例年少ない男性のお手伝いもあると助かります。汚れてもいい服装でお越してください。椅子席の作業となり、昼食は準備があります。ご協力どうぞよろしくお願いいたします！
※今年はお寺の法務の都合で第1土曜に変更ですご注意ください。(例年は第2土曜)



入会随時募集
門信徒会
に入りませんか



- 11/1(金) 副住職が築地本願寺で開催の「コーラスの集い」で法話をいたします
- 9/20発行『本願寺新報』(本願寺出版)の「みんなの法話」に副住職の法話が掲載されました
- 「天真寺門信徒会」 入会して一緒に仏さまの教えを聞きませんか
- 毎月寺報と仏教冊子を送付し、法要や法話会のご案内をしています。お寺の行事はすべて参加自由です。年会費:3千円 会費振込先:ゆうちょ銀行「天真寺門信徒会」00130-6-567186
- 天真寺ホームページでお寺の日々を綴っています

住職のブログ「住職の独り言」 blog.goo.ne.jp/ranman_kn
副住職のブログ「天真寺通信」 tenshin.or.jp/



お寺の掲示板の言葉

念仏は
親のよび声
子のへんじ
(才市)



浄土真宗
本願寺派

天真寺

〒270-2251
千葉県松戸市金ヶ作106
TEL 047-389-0808
FAX 047-389-0809
www.tenshin.or.jp



秋の法話会

【日時】 **10月20日(日)**
 13:30 勤行「正信念仏偈+六首引」
 14:00 法話(40分×2席)
 15:30頃 終了予定

【講師】 **園淵 和貴師** (本願寺派布教使・大阪教区 西法寺)
その ふち かず たか

【場所】 天真寺本堂(椅子席)



人生を豊かにする仏さまのお話を聞いてみませんか
 どなたさまもどうぞご自由にお参りください(予約・申込等不要)
 法話会終了後には茶話会もありますので、ぜひこちらもご参加ください

★ ライブ配信あり、オンラインでも参加可能です
<http://www.koumyou.net/tenshin>
 天真寺のHP(tenshin.or.jp)からも簡単に見られます



オンライン参加
 はこちらの
 QRコードから



住職の独り言

■彼岸花(9/19)

今日は彼岸の入りです。お彼岸に咲く花といえば彼岸花です。別名「曼珠沙華(まんじゅしゃげ)」といい、サンスクリット語では「天界に咲く花」「見る者の心を柔軟にする」という意味があります。『法華経』などの経典に由来し、「紅色の花」も意味します。「天上の花」としてめでたい兆しともされ、また仏具の天蓋に似ていることから「天蓋花(てんがいばな)」とも呼ばれるそうです。球根に毒性があり、日本では墓地に植えられたことで不吉な花ともいわれますが、実は仏教に深い縁がある花なんです。今度見つけたらその美しさをゆっくり愛でたいと思います。

■オアシス(9/16)

「私は歳を取るとはこわくない。いいワインは古くなるにつれて味が出る」と言った友人がいましたが、私は歳とともに頑固にだけはなりたくない

と思っています。が…頑固なんです。でも「オアシス」だけは忘れないように心がけたいと思っています。おかげさま、ありがとう、しんせつに、すいません!

■伝道院同窓会(8/30)

コロナ禍で休止されていた伝道院第9期の同窓会が開催されました。「本願寺伝道院」とは布教使を目指すための全寮制の学校で、私は約50年前に学びました。今回は京都に全国から同窓生が集まり、『領解文』についての勉強会となりました。同窓生もみな高齢となり、それぞれ病を患い、健康の話が多くなったような…。勉強会後は会場を移し、食事やカラオケとおかげさまで久しぶりに楽しい時間を過ごしました。

■自然(じねん)に帰す(8/28)

はからいを捨て 自然の世界に 身を託す
 法性常楽を得証す これ念仏の不行なり
 南無阿弥陀仏



一口法話 「大慈悲心に支えられる人生」 副住職 西原 龍哉

■仏教テレフォン相談

私は僧侶になってから約20年、首都圏の伝統宗派の僧侶で運営する一般社団法人「仏教情報センター」でボランティア活動をしています。主な活動は「仏教テレフォン相談」で、140名程の僧侶が平日に当番制で担当しています。相談内容は仏事のことが多いものの、最近では人生に対する不安や悩みなどの相談が増えているように感じます。



■傾聴の大切さを実感

私たち僧侶は、宗派の違いを超え、同じ仏教者として少しでも苦悩する人に寄り添いたいという願いから、ともに研鑽を重ねています。「浄土真宗ではこう考えます」と教科書通りに答えても、人間関係もできていない状況ではこちらの話も聞いてもらえません。まずは相手の話をよく聞いてから、お悩みを聞かせていただく姿勢を心がけています。



■人生をお念仏とともに…

8月の末、東京ビックサイトで、第10回「エンディング産業展」が開催されました。ここには、終活に向けてさまざまな企業が出展します。今回は

俳優の石田純一さんが生前葬を行い話題になっていました。私は仏教情報センターが営む超宗派の合同法要に参加しました。超宗派だとそれぞれお経も作法も衣体も異なり、とても個性豊かです。



そんなおつとめの中、私は目の前に掲げられた「南無阿弥陀仏」のご本尊を拝し、不意に「ああ有難いなあ」という喜びに心が満たされました。私が称える念仏は、阿弥陀如来が私に「お前を救う仏はここにいるぞ」とよび続けてくださっていた声であったのだと改めて味わった時、申し訳ない気持ちと有難い気持ちがごちゃ混ぜになって感動が湧き上がって来たのです。阿弥陀如来は苦悩の衆生を捨てることができない、いやこの私こそが救いの目当てだと、「南無阿弥陀仏」の声となり、私のいのちに響きわたってくださっています。私の存在すべてが、この阿弥陀如来の大慈悲心に支えられているのです。ともどもに、かけがえのない人生の大切な一瞬一瞬を、お念仏とともに重ねてまいりましょう。

お釈迦さまの国から こんにちは③



お釈迦さまがその木の下で悟りをひらかれたとされる菩提樹の葉を切り取った一枚。葉は美しく色づき、可愛らしいハート型。この落葉は人気のお土産です。(副住職の友人インドのマルーさん撮影の仏跡写真を紹介する連載です)

となりの親鸞 ご参加ください

浄土真宗東葛仏教会主催 第29回公開仏教文化講演会

＜日時＞ **10月5日(土)**
 14:30~16:30(開場 13:30)
 ＜場所＞ アミュゼ柏2階 クリスタルホール
 (柏市柏6-2-22 TEL 04-7164-4552)
 ＜参加費＞ 無料 ＜定員＞ 先着400名
 なかじま たけし
 ＜講師＞ **中島 岳志氏**
 (1975年大阪生まれ。東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授。著書にナショナルリズムと宗教『親鸞と日本主義』等)



天真寺が主催寺院の一つとなる仏教講演会です
 どなたさまも、どうぞお気軽にご参加ください